

第5回 練馬区立平和台保育園運営業務委託事業者選定委員会 会議要点記録

平成21年11月2日（月）午後7時～8時30分

練馬区役所本庁舎5階 庁議室

出席者：学識経験者1名、有識者2名、区立保育園園長経験者1名、

児童青少年部長、保育課長、事務局

オブザーバー：平和台保育園保護者1名

1 委員長より

各委員の採点結果の分布から全体像を見て、最終的に平和台保育園の運営を託す最適な事業者を合議体として選ぶこととしたい。

2 議事

「A 提案書等による審査」、「B 現地調査による審査」、「C 園長候補者等ヒアリングによる審査」の順に、審査基準表（採点表）の評点分布を見ながら論議を行った。

各事業者についての主な意見・指摘等は、以下のとおり。

A事業者

- ・園長候補者は、プレゼンテーション・ヒアリング時は固さがあったが、現地視察では生き生きとした雰囲気で見守りが持てた。
- ・既存園は子育て支援事業も運営している。
- ・既存園の職員が応募していることを知らないなど、職員の人材確保に不安が残る。
- ・虐待マニュアルが未策定。

B事業者

- ・提案書類は、よくまとまっており評価が高い。
- ・法人が自治体等から引き継いだ保育園には、委託前の保育を真摯に引き継ぐ姿勢がみえる。
- ・事業者の安定度（人事、運営基盤）が高い。
- ・既存園では、法人本部が深く関わりを持ち、運営を支援している。法人のサポート体制に期待できる。
- ・園長候補者は認可保育園の園長を長く勤め、経験が豊かである。
- ・事業者からの聞き取りでは、園長候補者の役割は、園全体を高い視点から、園運営は円滑か、近隣とのコミュニケーションなどを見ることになる。副園長候補者の役割は、保育士との連携、調理師との連携などを総括することとなる。
- ・副園長候補者は意欲的で好感が持てる。副園長候補を評価する項目がないが、項目があればさらに加点できる。
- ・細かい保育内容については、準備委託期間で十分な引継ぎを行うことが望まれる。

総合的な評価からは、法人のサポート体制、安定度などの面から、B事業者を平和台保育園の運営を委託する事業者として選定した。

以上